

まとめると①城山は佐伯湾に近く、独立した峰で、海陸風の影響を受けることが多い②西斜面では下降風がみられ、湿度が他の斜面よりも著しく高い③城山の気温は市街地の暖かい空気の影響を強く受けて最高、最低気温が一―二度押し上げられていると推定される。これは裏より風（海風）が市街地で暖められて上昇後、城山の斜面に吹きつけるためではないかと考えられる④将来、佐伯市の都市化が進むと、それに隣接した城山の森林の環境は大きな影響を受けることが予測される―などが指摘されている。

佐伯市民にとって、市の発展は大きく願うところである。と同時に、多くの市民が、こよなく愛する城山の自然も、また大切に望んでいる。押し寄せる時代の波は、どうしようもないが、これに対する市の対応が期待される。

表紙解説

浜木綿咲き匂う江武戸浜

蒲江町畑野浦

この浜辺はもとは暖竹（暖地の海岸付近に自生）の竹藪に覆われていた。村おこし運動を進めている畑野浦の人々は、ここを公園化して憩いの場にすることを考え、延々と続き繁茂する暖竹と野ばらにいどんだ。先ず有志の人々による暖竹切りからはじまった。案ずるよりうむが易いのたえ、日がたつにつれ二人三人とふえて行った。最も困難な株掘りにはブルドーザーの応援が来た。

漁協は経済的な援助を買って出た。あたりの整地が進むにつれて荒れた社殿がみすばらしく見えて来た。入津湾漁民の信仰する江武戸神社は漁協によって新築された。やがて数万個の浜木綿の種が町内各地から採集され、小学生から高校生を含む区民総出でまきつけられた。

更にフェニックス、海紅豆（かいこうず、デイク）、夾竹桃、芝生も植付られミニ子供の国ができ上った。

六月になると浜木綿は白く咲き匂い、海紅豆、夾竹桃は赤く、また紅に夏を彩る。よい海水浴場でもある。